



「よりいっそう自分事」へ、今できること

本校では、春に交通安全教室、火災の避難訓練、秋には地震を想定した避難訓練を実施しています。本年度の地震・津波の避難訓練では、初めて校外の高台への避難を試みしました。日本海沖で地震が発生した場合、約15分後におよそ5.5mの津波がくる想定となっています。地震発生後、すぐに校内放送で、リファレンスいなばへ向かって避難するよう呼びかけ、その途中にある伏野地区浄水場（海拔約20m）で点呼し終了としました。残暑厳しい中でしたが、15分以内に全児童生徒・職員の避難が完了しました。被害の状況に加え、季節や天候によってもどこに避難するのが安全なのか、とっさの判断が必要になりますが、今回の訓練で、高台への避難も選択肢の一つとなりました。

また、職員研修として、食物アレルギーに関する研修、てんかん発作に関する研修、心肺蘇生を目的とした救急救命講習、プール学習前のシミュレーション研修、不審者対応研修など、学校生活において考えられる非常時に備えて、訓練・研修を実施しました。

さらに本年度は、鳥取地方気象台の専門家を講師に迎え、5～7人のグループに分かれて、地震・津波避難の「図上訓練」を行いました。実際の災害時に起こりそうな時間推移での被害想定の中、必要な行動、必要な支援・声かけ、必要な物など話し合いました。頭では分かっているつもりでしたが、状況に応じた対応を迫られると、判断に躊躇したり、必要な物資がなかったり、様々な課題が浮かび上がり、「自分事」として考えることができました。

いつくるかわからない災害に毎日怯えて生活することはできません。いつ何が起きても児童生徒の安全を確保し、迅速に避難できるよう、これからも研修や訓練を積んでいき、全職員の危機管理意識を高めると同時に、「よりいっそう自分事」へ発想の転換を図っていきたいと思います。

【引き渡し訓練】御参加ありがとうございました

今回は引き渡しカードと児童生徒の照合、引き渡しの手順の確認を主とした訓練でしたが、短時間で児童生徒の引き渡しが完了しました。御協力ありがとうございました。

引き渡しカードは引き渡し者の車に常備していただき、いつでも引き渡しができるように準備をお願いします。また、カードの紛失や変更など、いつでも受付をしていますので、連絡帳などで担任にお知らせください。

（健康・安全部長 やまかわ しげき 山川 茂樹）

「いのちの出前授業」

心や性に関する指導の一つとして、助産師さんを講師に招き、11月より各学部で順次実施しています。いのちの大切さや尊さに気づき、自分自身を大事にできること、相手を思いやる心を育む授業を行います。

「全国学校給食週間」

児童生徒や教職員、保護者、地域住民等の理解と関心を高め、学校給食のより一層の充実と発展を図ることを目的に、全国給食週間が定められています。本年度は1月24日から30日までです。この期間中に、リクエスト給食として、児童生徒のアンケートを基に栄養士さんに給食のメニューを考えていただいています。お楽しみに！

